

平成29年9月14日（木）

地域包括ケアシステム 彦根市の学区別高齢者の状況

彦根市 医療福祉推進課 地域支援担当 川寄 孝
TEL0749-24-0828

1. 地域包括ケアシステム

(1) 地域包括ケアシステムとは

◎定義

社会保障改革プログラム法(2013年12月)第4条第4項

「地域の実情に応じて、高齢者が、可能な限り、住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制」と規定。

簡略化すると

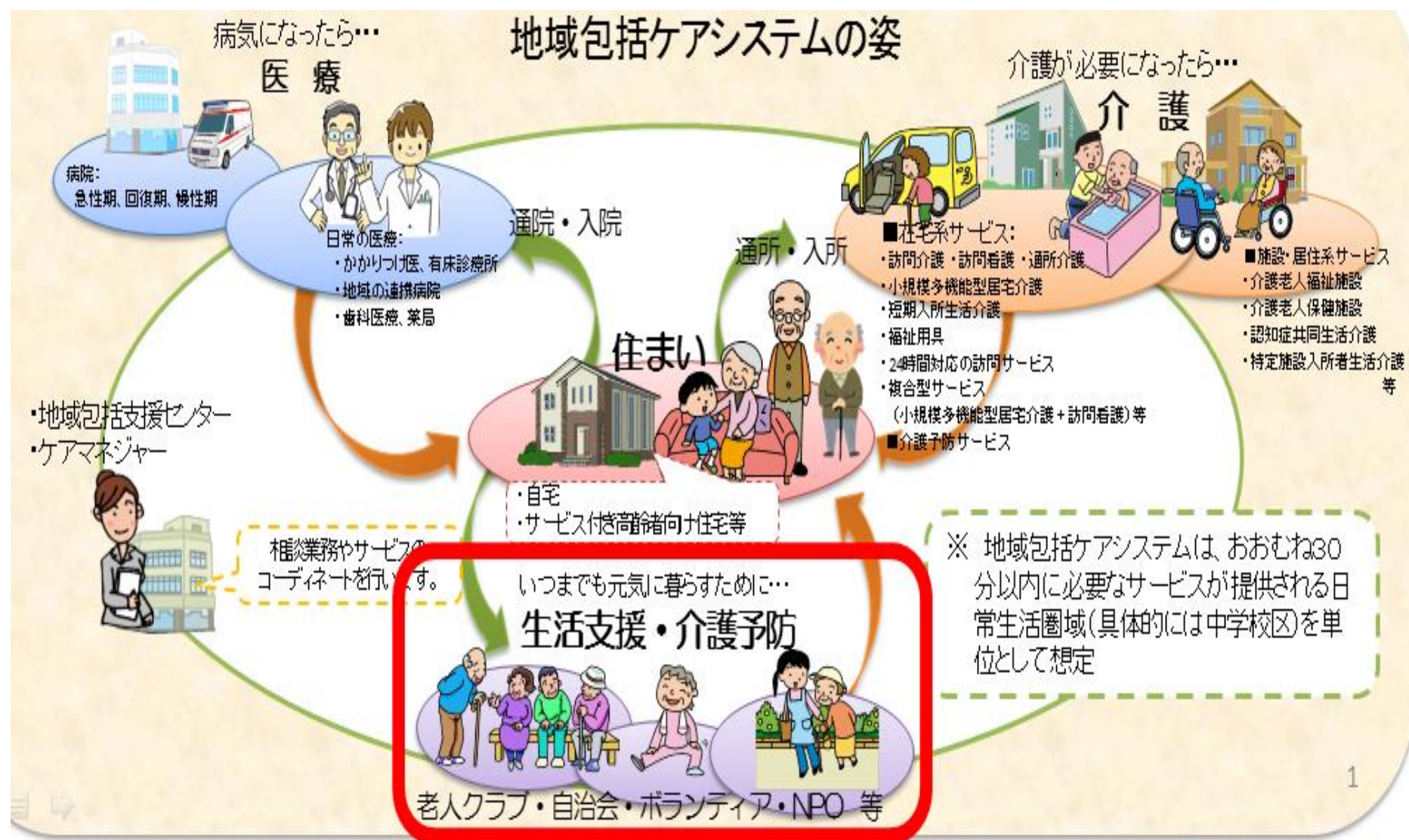
「医療、介護、介護予防、住まい、および生活支援が包括的に提供されるネットワークを作る」ということ。

◎5つの要素

①医療 ②介護 ③介護予防 ④住まい ⑤生活支援

高齢の単身者や夫婦のみで構成される世帯が主流になる中で、在宅生活を選択することの意味を本人や家族が理解し、そのための心構えを持つことが重要となる。

(2) 地域包括ケアシステム構築に向けた取組



(3) 平成28年度版厚生労働白書から

第4章 人口高齢化を乗り越える視点

第3節 地域で安心して自分らしく老いることのできる社会づくり③

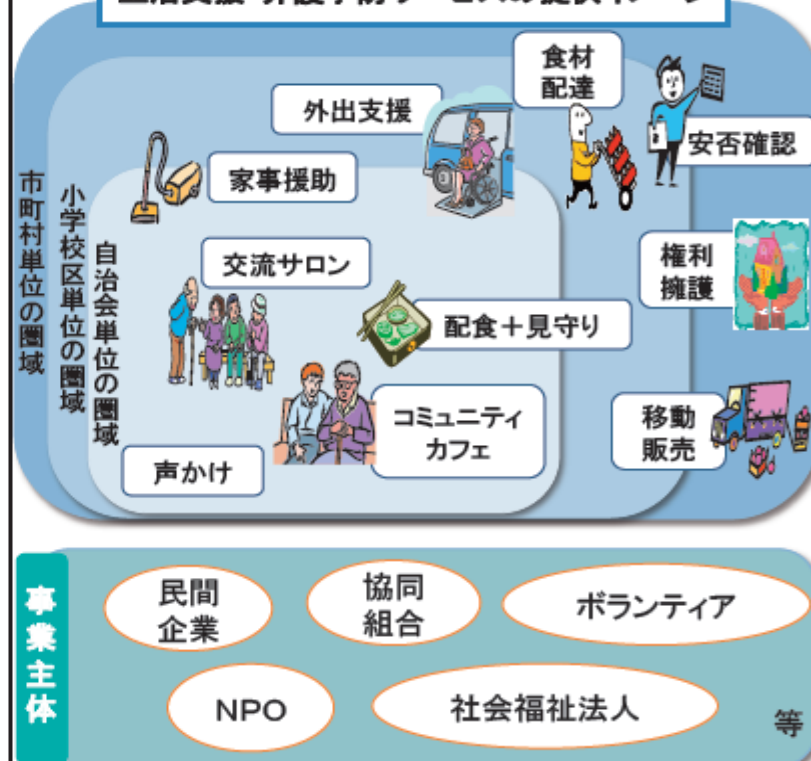
② 介護

- ・生活支援サービスの充実
 - ◆介護予防との一体的な提供
 - ◆生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置や協議体の設置等により、多様な主体の参加を促し、サービス提供主体間のネットワークを構築
- ・新しい介護予防の推進
 - ◆心身機能、活動、参加の各要素へのアプローチ
 - ◆地域診断による要支援者の把握、多職種連携によるアセスメント、生活課題の抽出と目標設定
 - ◆地域づくりによる介護予防（住民主体の身近に通える場での介護予防）
 - ◆効果的な介護予防の取組推進のための先進事例の展開
- ・介護に取り組む家族等への支援
 - ◆家族等への情報提供、相談体制の充実
 - ◆仕事と介護の両立を可能とするための制度改正

③ 住まい

- ・特別養護老人ホーム等の施設をはじめとした様々な住まいの整備

生活支援・介護予防サービスの提供イメージ



バックアップ

市町村を核とした支援体制の充実・強化（生活支援コーディネーターの配置、協議体の設置等を通じた住民ニーズとサービス資源のマッチング、情報集約等）

➡ 民間とも協働して支援体制を構築

(3) 平成28年度版厚生労働白書から

第4章 人口高齢化を乗り越える視点

第3節 地域で安心して自分らしく老いることのできる社会づくり④

16

- ・ 高齢化や社会資源の状況等は地域によって異なり、地域包括ケアシステムの実現には、地域ごとに今後の地域の在り方を考え、住民同士、住民と専門職、専門職同士という多主体間の連携によるネットワーク構築（地域づくり）を進めることが重要。
- ・ 地域づくりは、住民にとって最も身近な行政主体で介護保険制度の保険者である市町村が保険者機能を発揮し、中心的な役割を果たすことが期待される。また市町村における多職種連携の推進支援を行う等、都道府県が中心となって市町村をリードすることも期待されている。
- ・ 国は、保険者機能の抜本的強化のための検討を進めるとともに、好事例を全国に展開し、自治体の取組みを加速化させ、全国的な地域包括ケアシステムを推進する。

背景

①高齢化の状況

- ・ 都市部では若年層が減少する一方で高齢者数は増加・横ばい。
- ・ 過疎地域では若年層・高齢者ともに減少

②社会資源の状況

- ・ 都市部では地縁・血縁が希薄化し互助機能が低下傾向。
- ・ 地方の小規模都市等ではネットワークが健在の地域も存在。

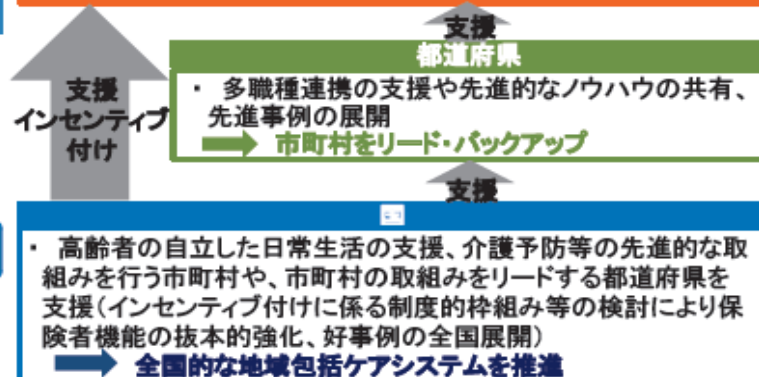
地域の特性・資源の状況を踏まえ、保険者機能を有する市町村が中心となり、地域ごとに今後の地域の在り方を考え、多職種多様なサービス主体間の調整・連携を強化



市町村(介護保険制度における保険者)

- ・ 地域ニーズの把握
- ・ 地域ケア会議等の場を活用して、課題解決にあたる多職種間のコミュニケーションと相互理解を促進
- ・ 住民同士、住民と専門職、専門職同士といった多様な主体間の連携づくり(=ネットワーク)

→ 地域に即した「地域包括ケアシステム」の構築



(3) 平成28年度版厚生労働白書から

第4章 人口高齢化を乗り越える視点

第4節 暮らしと生きがいとともに創る「地域共生社会」へのパラダイムシフト

- ・ 様々な生活課題を抱えながらも住み慣れた地域で自分らしい生き方を全うするため、地域で支援を必要とする全ての方の暮らしを支えられるよう地域包括ケアを深化させていく必要がある。
- ・ 地方創生の観点も踏まえ、地域ごとの特徴を生かしつつ、支え手・受け手に分かれていた社会から、全ての人暮らしと生きがいとともに創り共に高め合う地域社会を構築し、時代の変化に対応した新たな福祉のあり方を提示していく。

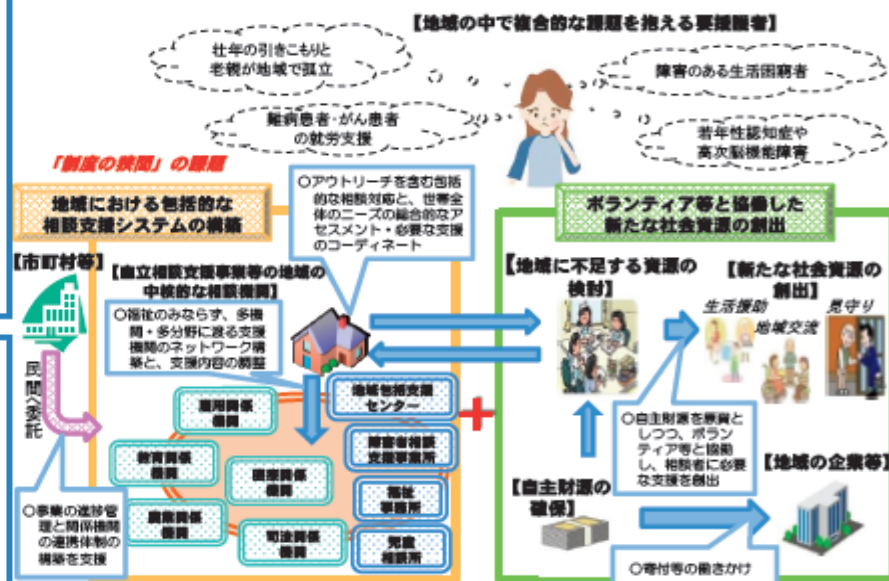
背景

- ・ 核家族化、人々の移動性・流動性の高まり等により地縁・血縁が希薄化し地域社会が脆弱化。
- ・ 公的サービスは分野ごとに質・量共に充実が図られてきたが、近年では「ダブルケア」等に見られるように、ニーズが複雑化・多様化。
- ・ 人口減少下で福祉ニーズへの変化に対応するため、地域づくり、サービス・相談、人材養成について、分野横断的な取組みの推進が必要。

今後の方向性

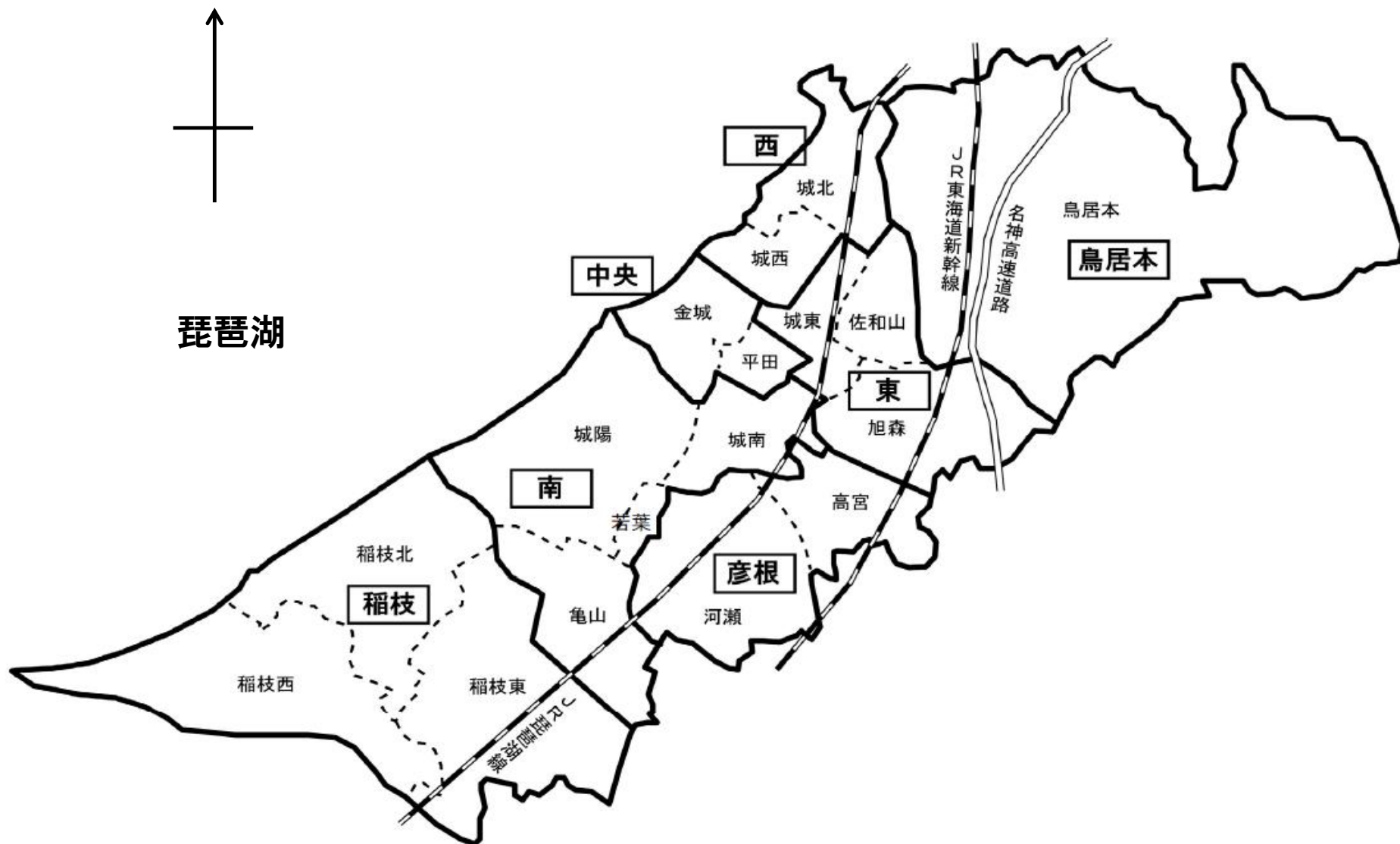
- ・ 各分野間の相談機関の連携により、対象者やその世帯について、分野横断的かつ包括的な相談・支援体制の整備
- ➡ 多機関の協働による包括的支援体制構築事業
- ・ 高齢・障害・児童等の福祉サービスを地域の実情に照らして一体的に提供できる仕組みの構築
- ➡ 総合的な福祉サービスの提供の推進
- ・ 総合的な福祉人材の育成・確保

【多機関の協働による包括的支援体制構築事業】

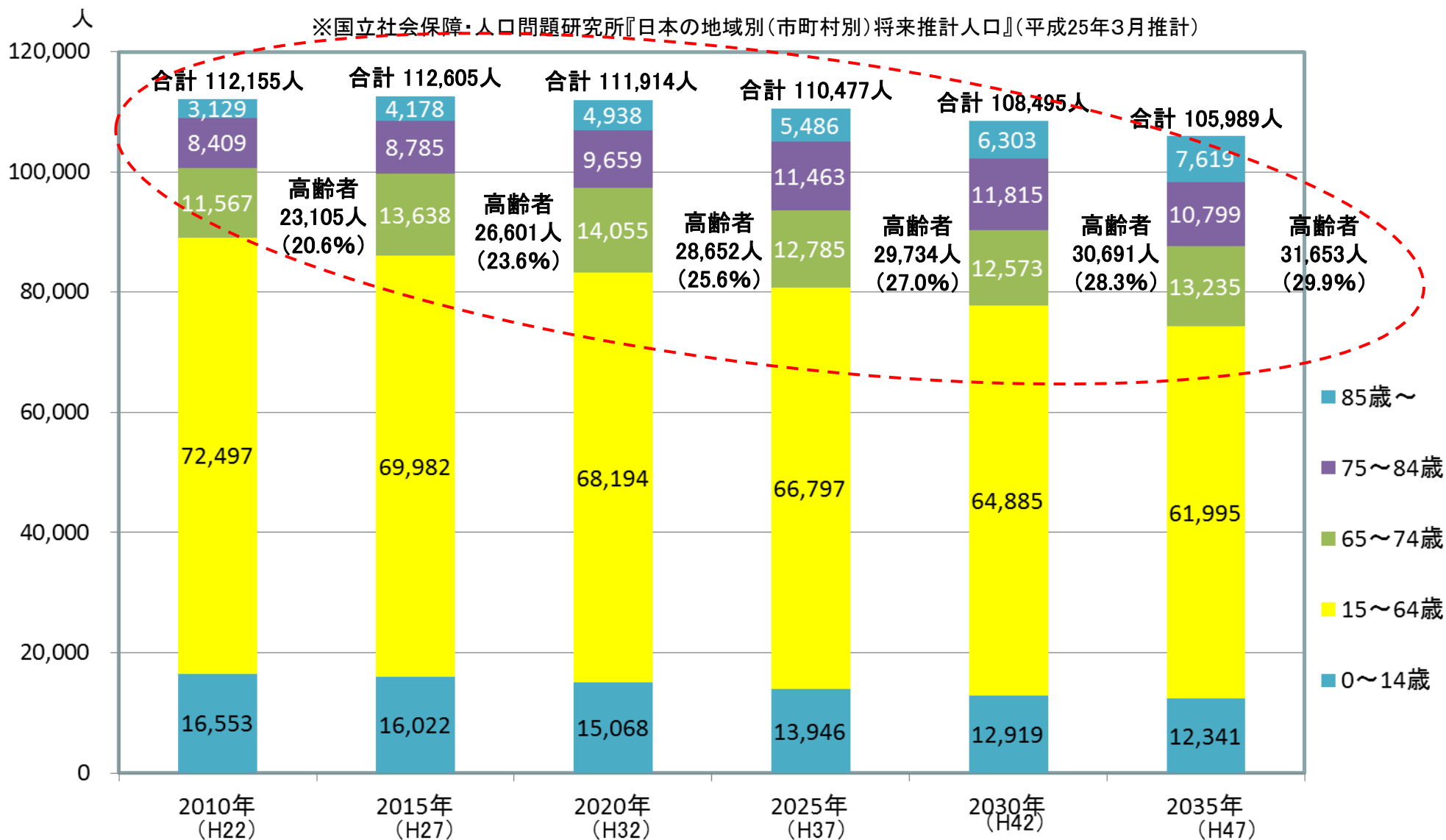


上記のモデル的取組を通じ、ノウハウ等を集積し、これらを模倣展開することを通じて、誰もが安心して身近な地域で暮らせるよう、全国各地で包括的な相談支援システムを構築していくことを目指す。

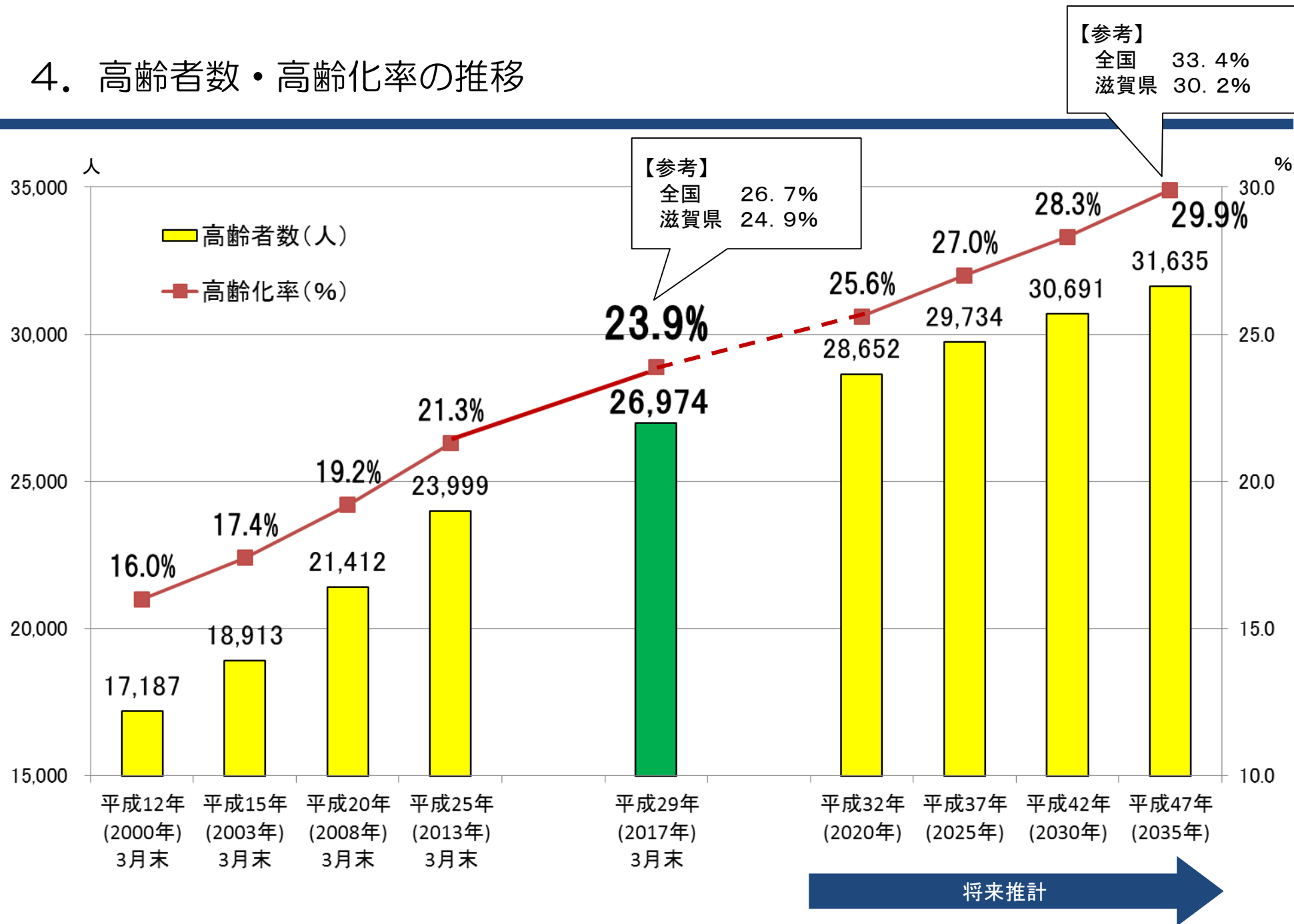
2. 彦根市の地形・中学校区



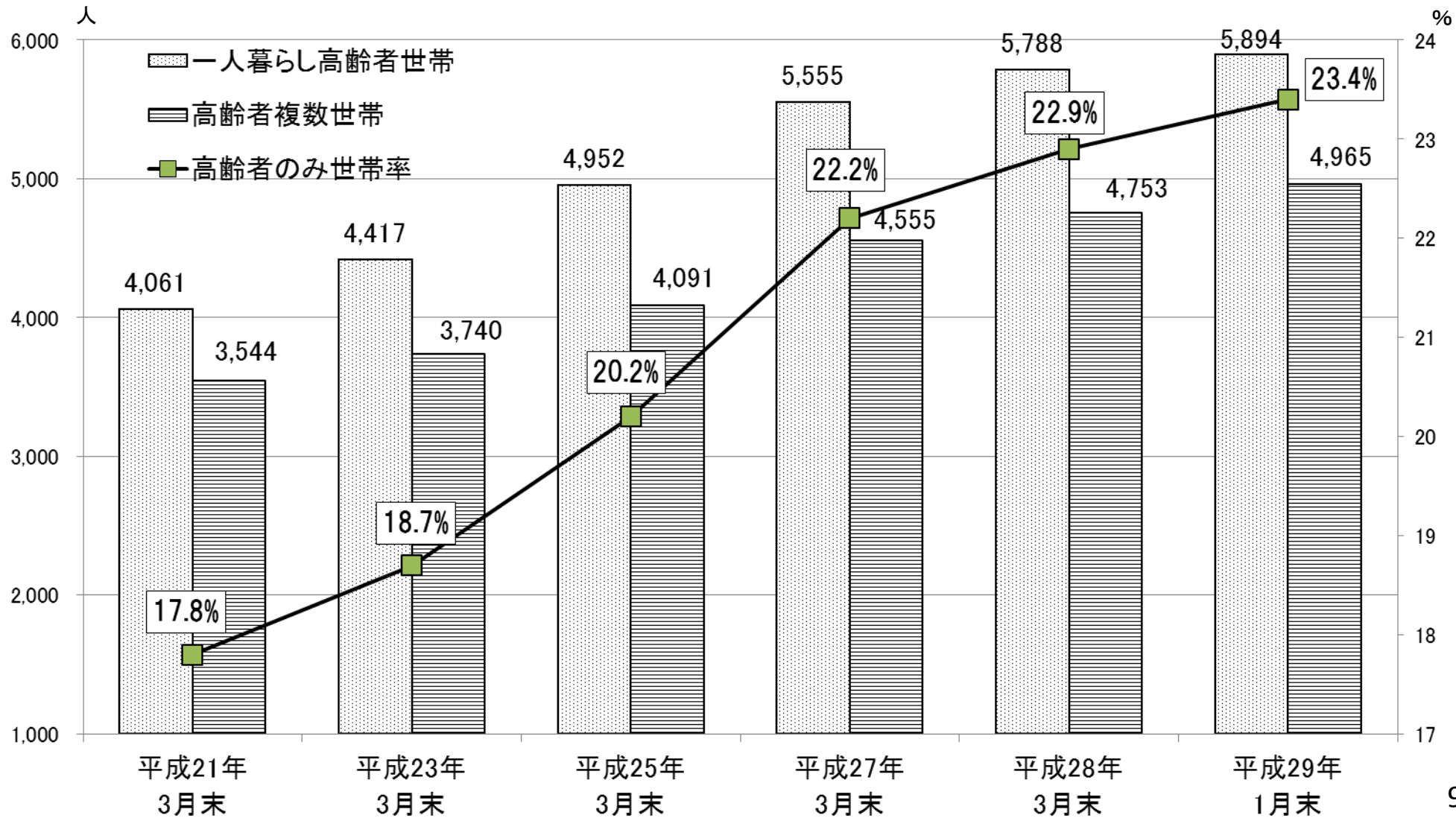
3. 彦根市の人口構造の変化（推計）



4. 高齢者数・高齢化率の推移

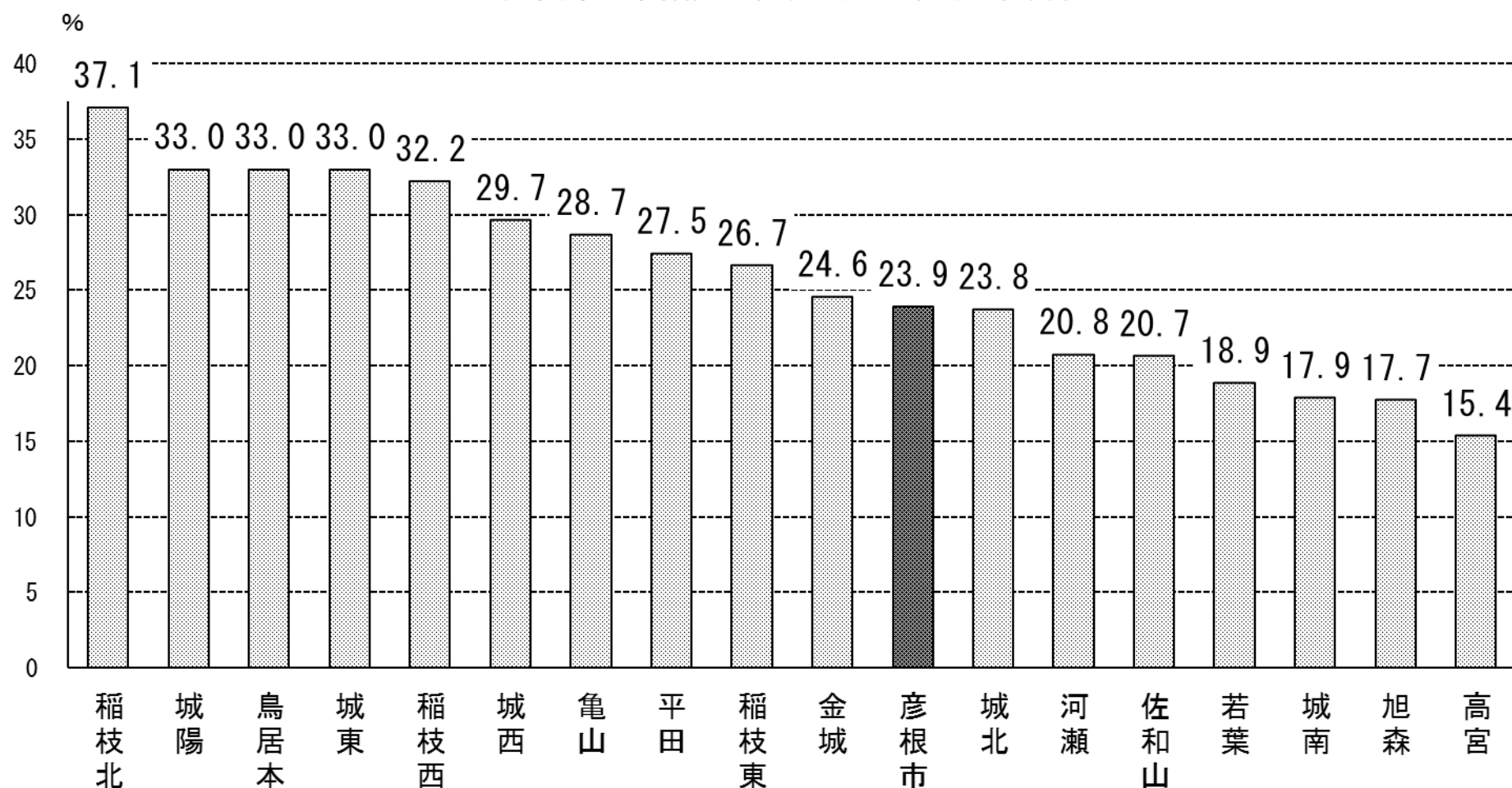


5. 高齢者のみ世帯の状況



6. 小学校区別高齢化率

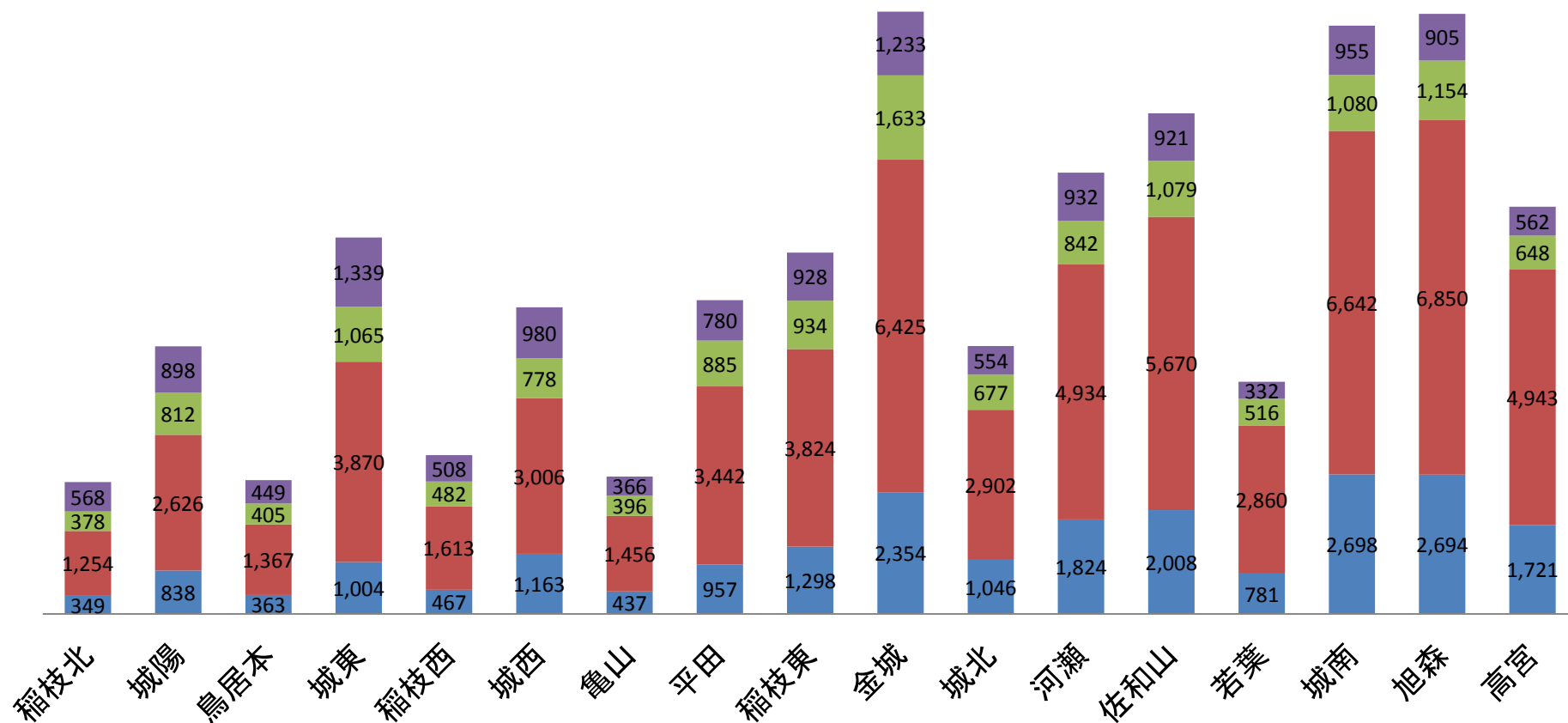
彦根市の高齢化率(平成29年3月末現在)



7. 学区別人口構造

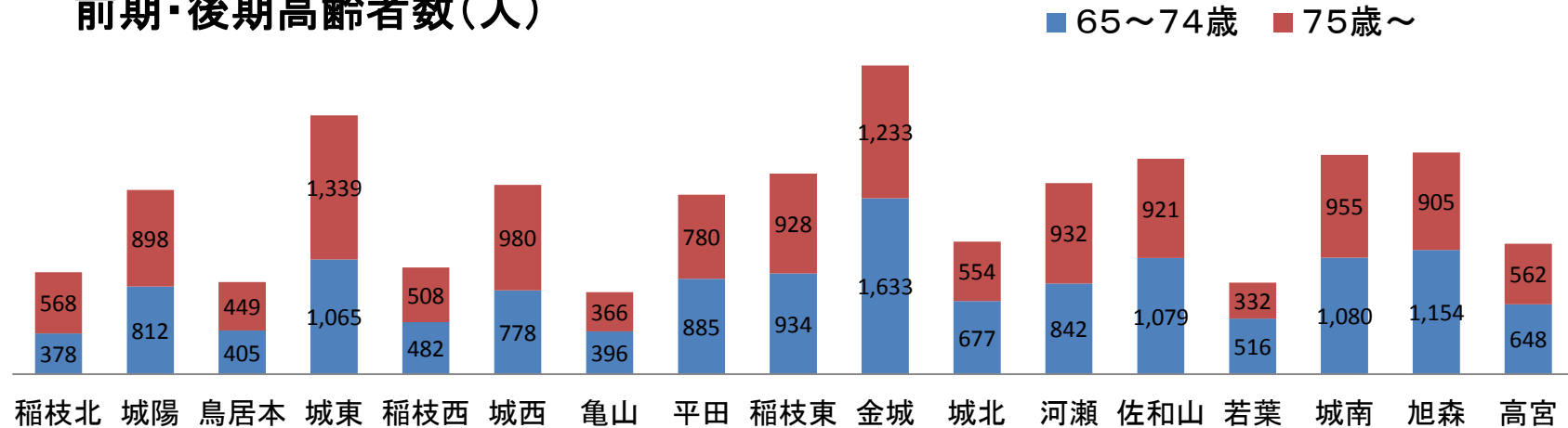
小学校区別年齢層別人口

0～20歳 20～64歳 65～74歳 75歳～

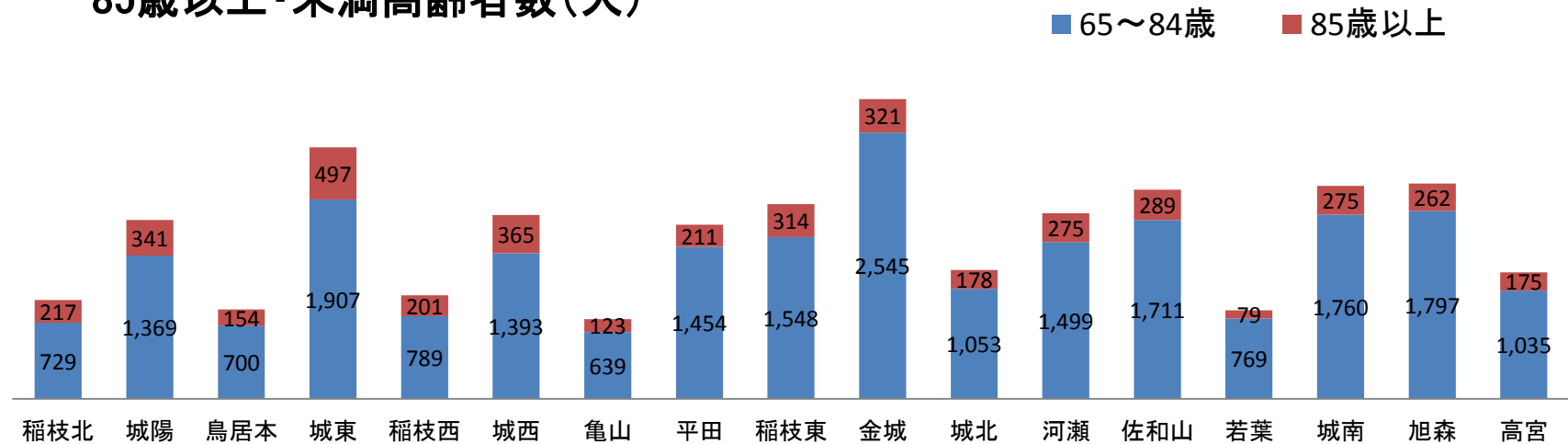


8. 小学校区別高齢者数（人）

前期・後期高齢者数（人）

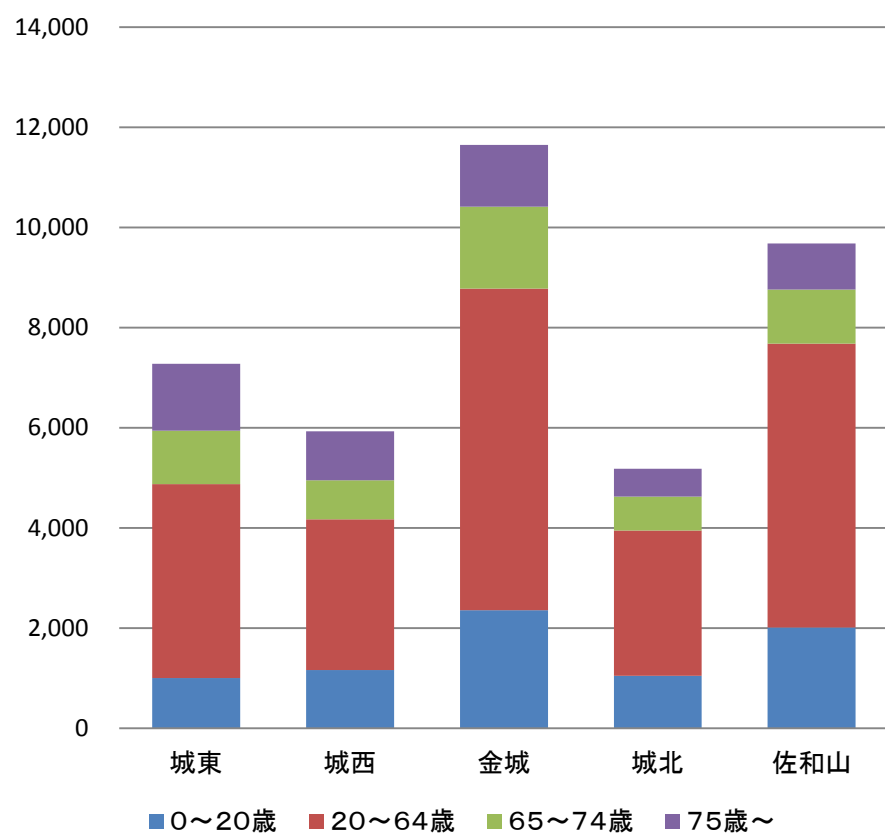


85歳以上・未満高齢者数（人）

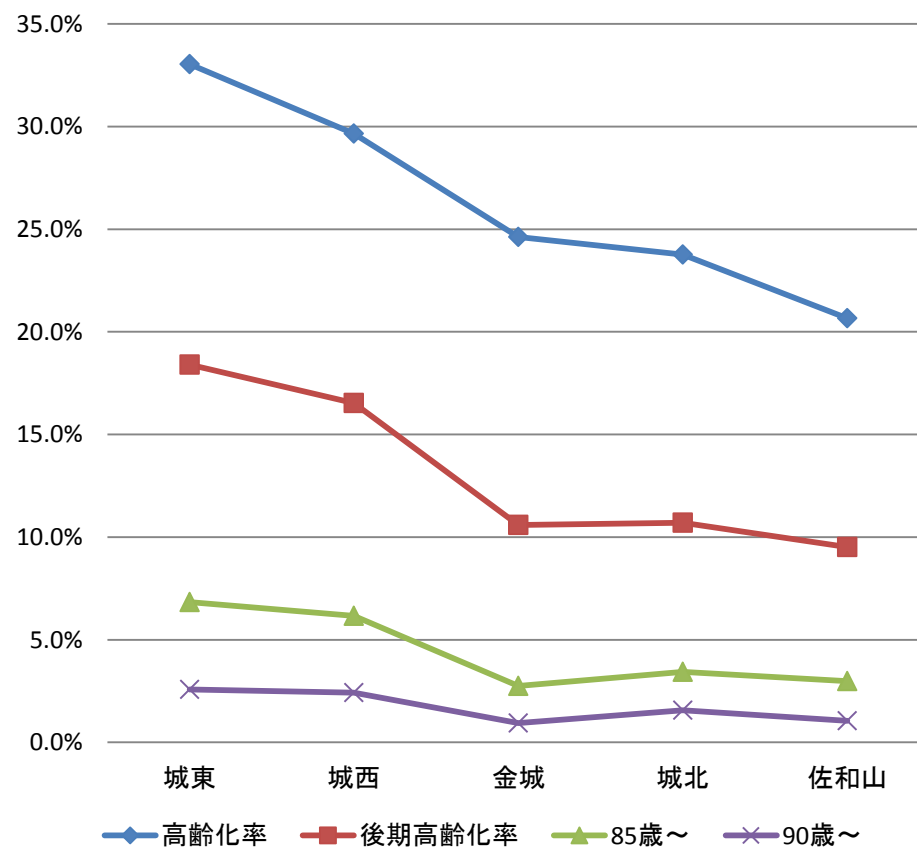


9. 学区別人口構造（部分）

年齢別人口(人)

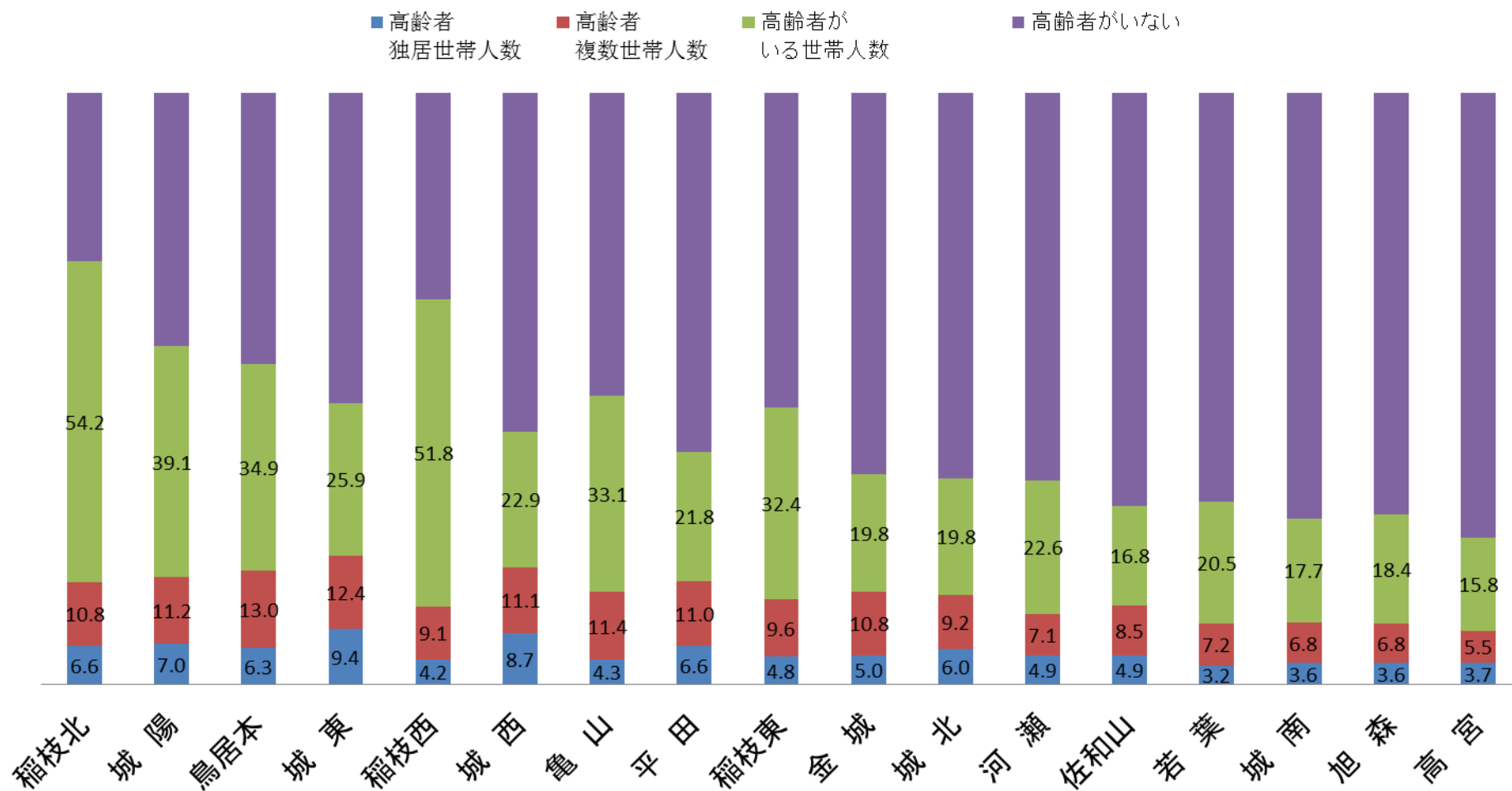


高齢化率(%)



10. 高齢者世帯の状況

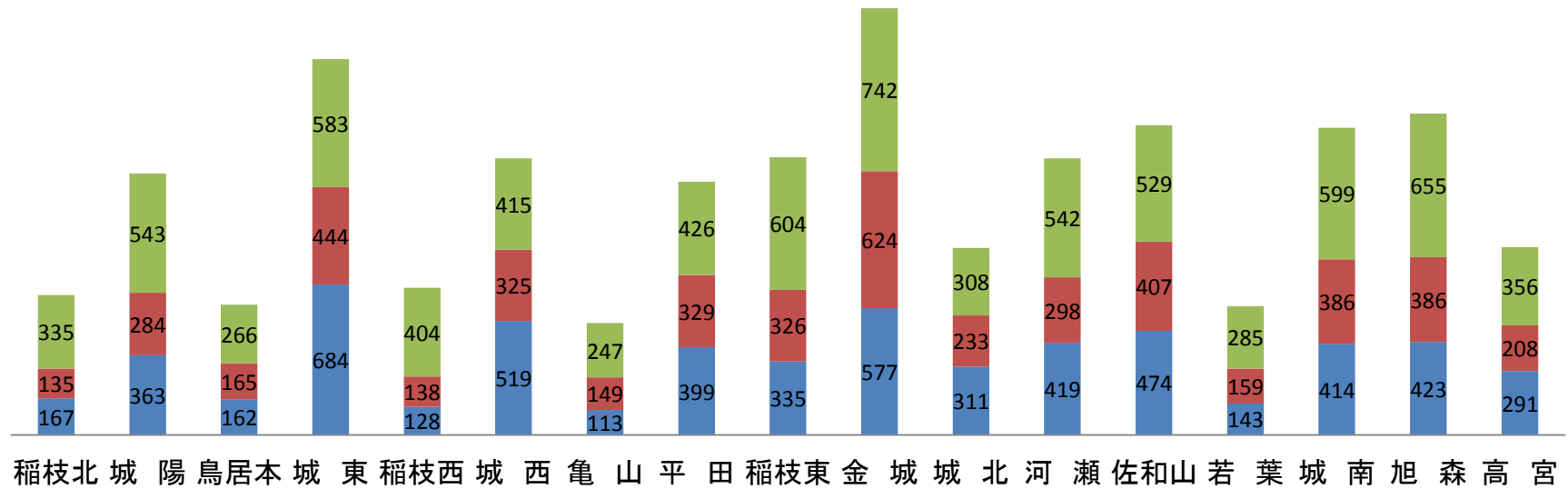
高齢者世帯状況(独居率%)



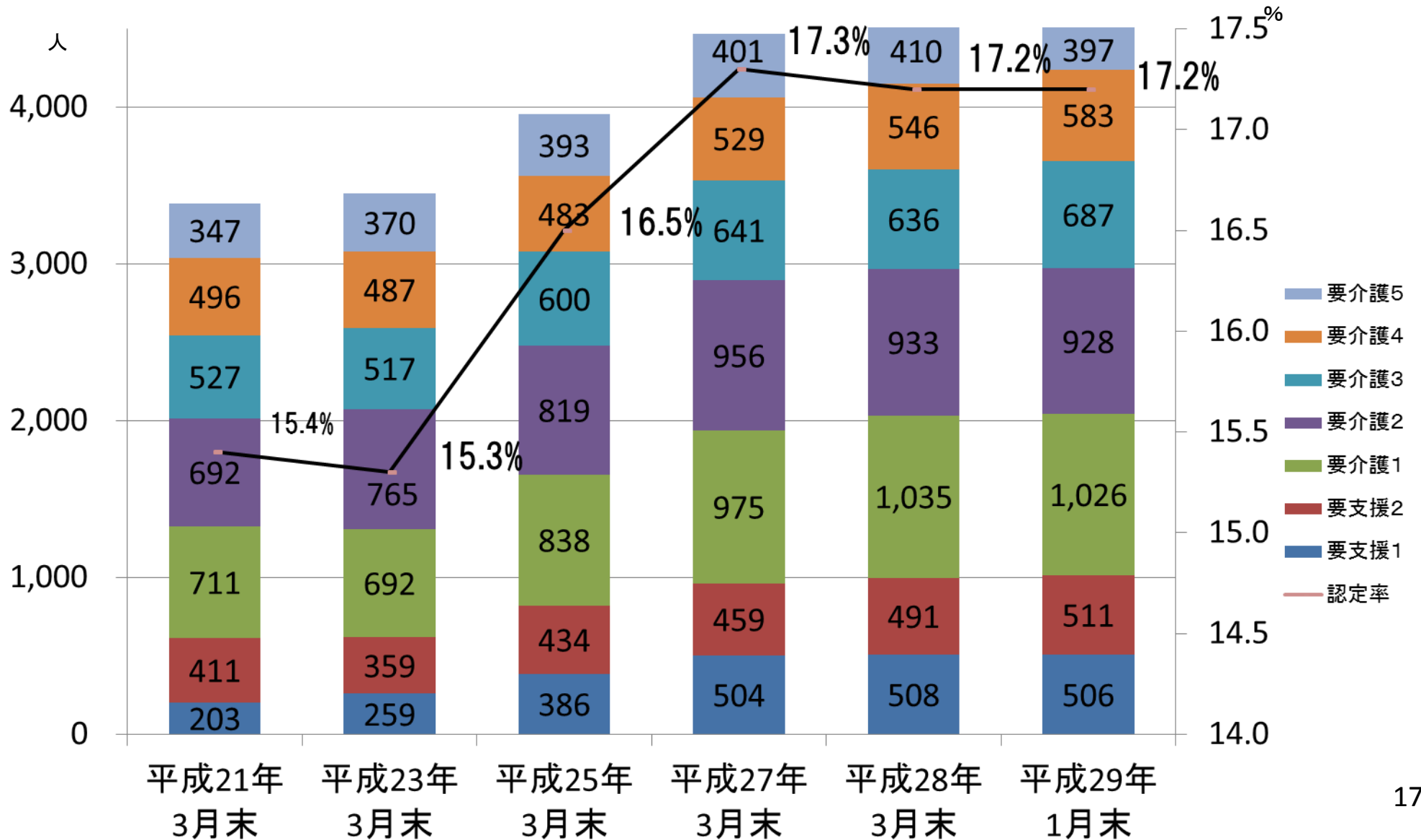
11. 高齢者世帯の状況

高齢者世帯状況(世帯数)

■ 高齢者
独居世帯 ■ 高齢者
複数世帯 ■ 高齢者が
いる世帯

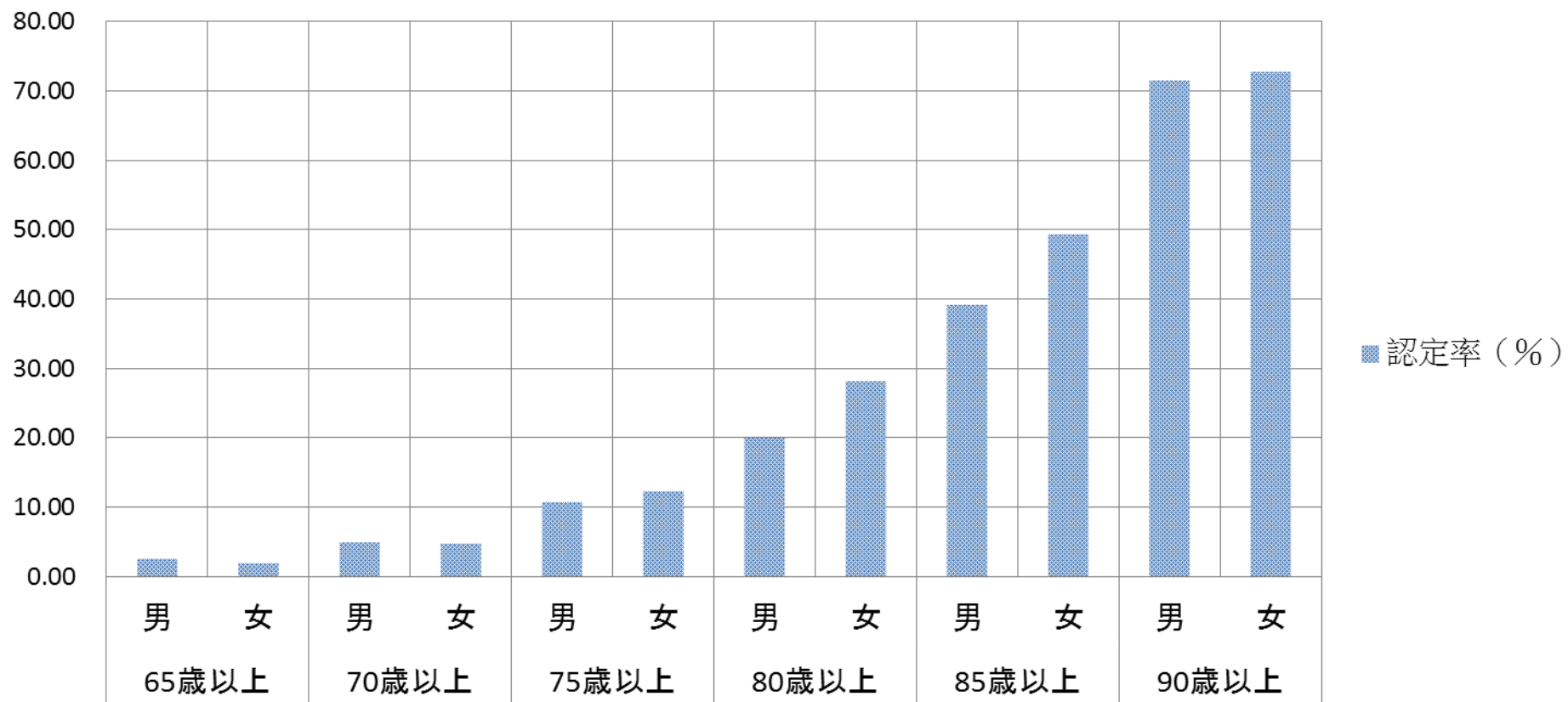


12. 要支援・要介護認定者の推移



13. 年齢別男女別認定率（％）

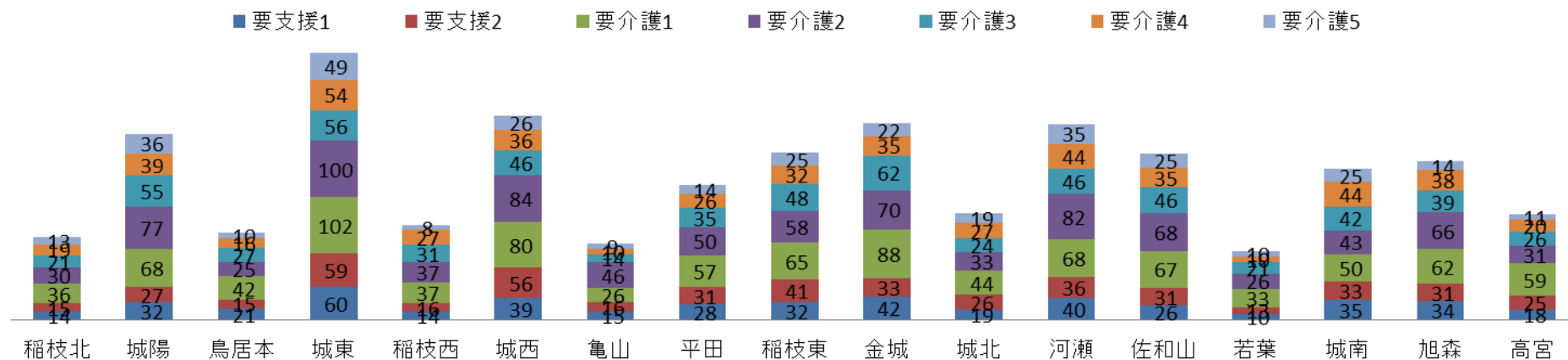
平成28年度認定者
人口は10月1日



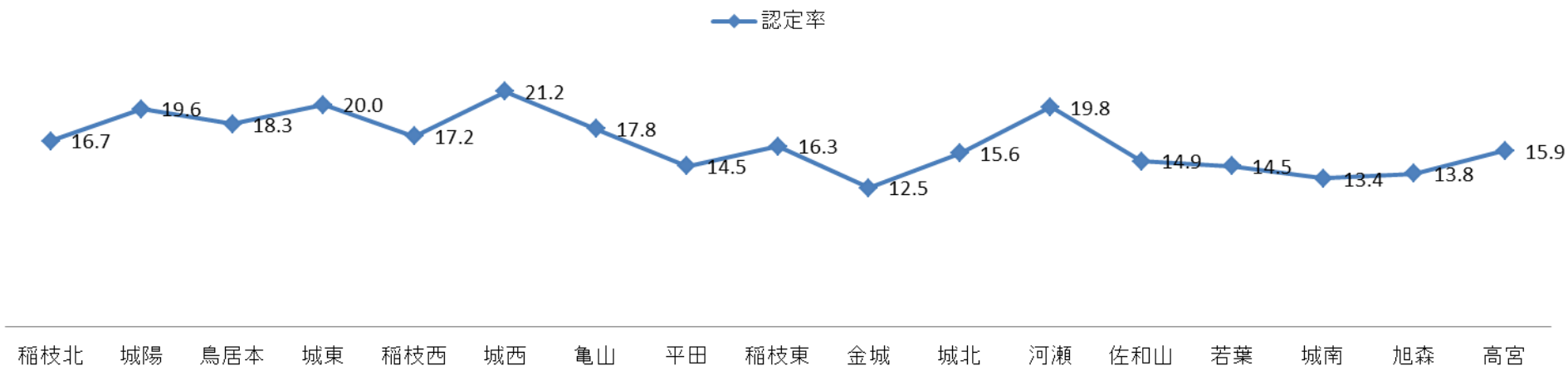
104	82	131	141	226	329	331	667	375	844	226	888	認定者(人)
4,020	4,070	2,685	2,951	2,116	2,658	1,649	2,373	958	1,711	316	1,219	人口(人)

14. 学区別認定状況

小学校区別認定者数(人)



小学校区別認定率(%)



15. 学区特性一覧表①

学区	彦根市の高齢者の状況	学区	彦根市の高齢者の状況
鳥居本	人口2,584人（高齢者：前期405人、後期449人） 高齢化率33.0% 後期17.4%認定者：要支援36 要介護1～3 94 要介護4以上26合計156人 18.3% 後期認定率32.3%高齢独居162 高齢複数165世帯 高齢者いる266世帯全体1,097世帯 高齢のみ率29.8%	城北	人口5,179人（高齢者：前期677人、後期554人） 高齢化率23.8% 後期10.7%認定者：要支援45 要介護1～3 101 要介護4以上46合計192人 15.6% 後期認定率30.8%高齢独居311 高齢複数233世帯 高齢者いる308世帯全体2,207世帯 高齢者のみ率24.6%
城東	人口7,278人（高齢者：前期1,065人、後期1,339人） 高齢化率33.0% 後期18.4% 認定者：要支援119 要介護1～3 258 要介護4以上103 合計480人 20.0% 後期認定率33.5% 高齢独居684 高齢複数444世帯 高齢者いる583世帯 全体3,464世帯 高齢者のみ率32.6%	佐和山	人口9,678人（高齢者：前期1,079人、後期921人） 高齢化率20.7% 後期9.5% 認定者：要支援57 要介護1～3 181 要介護4以上60 合計298人 14.9% 後期認定率27.7% 高齢独居474 高齢複数407世帯 高齢者いる529世帯 全体4,104世帯 高齢者のみ率21.5%
城西	人口5,927人（高齢者：前期778人、後期980人） 高齢化率29.7% 後期16.5% 認定者：要支援95 要介護1～3 210 要介護4以上62 合計367人 21.2% 後期認定率34.6% 高齢独居519 高齢複数325世帯 高齢者いる415世帯 全体2,622世帯 高齢者のみ率32.2%	旭森	人口11,603人（高齢者：前期1,154人、後期905人） 高齢化率17.7% 後期7.8% 認定者：要支援45 要介護1～3 167 要介護4以上52 合計284人 13.8% 後期認定率28.7% 高齢独居423 高齢複数386世帯 高齢者いる655世帯 全体4,514世帯 高齢者のみ率17.9%

15. 学区特性一覧表②

学区	彦根市の高齢者の状況	学区	彦根市の高齢者の状況
金城	人口11,645人（高齢者：前期1,633人、後期1,233人） 高齢化率24.6% 後期10.6% 認定者：要支援75 要介護1～3 220 要介護4以上57 合計352人 12.5% 後期認定率25.9% 高齢独居577 高齢複数624世帯 高齢者いる742世帯 全体4,794世帯 高齢者のみ率25.1%	城陽	人口5,174人（高齢者：前期812人、後期898人） 高齢化率33.0% 後期17.4% 認定者：要支援59 要介護1～3 200 要介護4以上75 合計334人 19.6% 後期認定率33.7% 高齢独居363 高齢複数284世帯 高齢者いる543世帯 全体1,969世帯 高齢者のみ率32.9%
平田	人口6,064人（高齢者：前期885人、後期780人） 高齢化率27.5% 後期12.9% 認定者：要支援59 要介護1～3 142 要介護4以上40 合計241人 14.5% 後期認定率27.4% 高齢独居399 高齢複数329世帯 高齢者いる426世帯 全体2,847世帯 高齢者のみ率25.6%	若葉	人口4,489人（高齢者：前期470人、後期311人） 高齢化率18.9% 後期7.4% 認定者：要支援23 要介護1～3 80 要介護4以上20 合計123人 14.5% 後期認定率32.2% 高齢独居143 高齢複数159世帯 高齢者いる285世帯 全体1,637世帯 高齢者のみ率18.4%
城南	人口11,375人（高齢者：前期1,080人、後期955人） 高齢化率17.9% 後期8.4% 認定者：要支援68 要介護1～3 135 要介護4以上69 合計272人 13.4% 後期認定率25.1% 高齢独居414 高齢複数386世帯 高齢者いる599世帯 全体4,738世帯 高齢者のみ率16.9%	亀山	人口2,655人（高齢者：前期396人、後期366人） 高齢化率28.7% 後期13.8% 認定者：要支援31 要介護1～3 86 要介護4以上19 合計136人 17.8% 後期認定率33.6% 高齢独居113 高齢複数149世帯 高齢者いる247世帯 全体996世帯 高齢者のみ率26.3%

15. 学区特性一覧表③

学区	彦根市の高齢者の状況	学区	彦根市の高齢者の状況
高宮	人口7,874人（高齢者：前期648人、後期562人） 高齢化率15.4% 後期7.1% 認定者：要支援43 要介護1～3 116 要介護4以上31 合計190人 15.9% 後期認定率31.1% 高齢独居291 高齢複数208世帯 高齢者いる356世帯 全体3,490世帯 高齢者のみ率14.3%	稲枝北	人口2,549人（高齢者：前期378人、後期568人） 高齢化率37.1% 後期22.3% 認定者：要支援29 要介護1～3 87 要介護4以上32 合計148人 16.7% 後期認定率26.8% 高齢独居167 高齢複数135世帯 高齢者いる335世帯 全体894世帯 高齢者のみ率33.8%
河瀬	人口8,532人（高齢者：前期842人、後期932人） 高齢化率20.8% 後期10.9% 認定者：要支援76 要介護1～3 196 要介護4以上79 合計351人 19.8% 33.0% 高齢独居419 高齢複数298世帯 高齢者いる542世帯 全体3,488世帯 高齢者のみ率20.6%	稲枝西	人口3,070人（高齢者：前期460人、後期499人） 高齢化率32.2% 後期16.5% 認定者：要支援30 要介護1～3 105 要介護4以上35 合計170人 17.2% 後期認定率30.3% 高齢独居128 高齢複数138世帯 高齢者いる404世帯 全体1,071世帯 高齢者のみ率24.8%
稲枝東	人口6,984人（高齢者：前期934人、後期928人） 高齢化率26.7% 後期13.3% 認定者：要支援73 要介護1～3 171 要介護4以上57 合計301人 16.3% 後期認定率29.1% 高齢独居335 高齢複数326世帯 高齢者いる604世帯 全体2,638世帯 高齢者のみ率25.1%	全市	人口112,660人（高齢者：前期13,764人、後期13,210人） 高齢化率23.9% 後期11.7% 認定者：要支援991 要介護1～3 2,617 要介護4以上963 合計4,571人 16.9%（2号含：4,657人 17.2%） 高齢独居5,922 高齢複数4,996世帯 高齢者いる7,839世帯 全体46,570世帯 高齢者のみ率23.4%

16. データから：全体的な各学区の比較（小学校区）

- ・ 高齢化率：稲枝北学区37.1%を筆頭に全学区高齢化率は上昇しているが、問題としなければならないのは後期高齢者の人数と率である。

- ・ 後期高齢者数

城東学区1,339人 金城学区1,233人 城西学区980人
城南学区 955人 河瀬学区932人 稲枝東学区928人
佐和山学区921人 旭森学区905人

- ・ 後期高齢化率

稲枝北学区22.3% 城東学区18.4% 城陽学区17.4%
鳥居本学区17.4% 稲枝西学区16.5% 城西学区16.5%
亀山学区13.8% 稲枝東学区13.3%

- ・ 後期高齢者認定率

城西学区34.6% 城陽学区33.7% 亀山学区33.6%
城東学区33.5% 河瀬学区33.0% 鳥居本学区32.3%
若葉学区32.2% 高宮学区31.1%